

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:令和2年度】

(②福祉施設)

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市老人福祉センター山王荘		担当課名	長寿推進課	記入者職氏名	国京 準
区分		内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市老人福祉センター条例					
	(2)施設設置目的	老人福祉法により高齢者は、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されており、心身の健康の保持及び社会活動への参加のため当該施設を整備し、もって老人の福祉を図ることを目的とする。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	大集会室、研修室、談話室、休養室、娯楽室、面接室、健康相談室、機能回復訓練室					
	(4)施設建設年度	昭和53年度					
	(5)耐震性能の有無	あり					
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)	水道管補修工事					
		壁面クラック補修工事					
	(7)指定管理者名	社会福祉法人 掛川市社会福祉協議会					
	(8)指定期間	平成28年4月1日 から 令和3年3月31日 まで					
	(9)債務負担行為設定の有無	☒ 設定あり ☐ 設定なし		※設定ありの場合、(期間 平成28年度～令和2年度) (限度額 98,794千円)			
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営					
	(11)自主事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(12)その他事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(13)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし						
(14)利用者満足度調査等実施の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)				

区分			H30実績	R01実績	R02実績	R03当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	13,200	13,200	13,200	12,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	13,335	11,887	6,210		
	内訳 (施設・設備ごと)		13,335	11,887	6,210		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H30実績	R01実績	R02実績	R03当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					中部ビル保善(株)	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		555	591	804			
	(3)運営日数		293	270	240	291		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	1.7	1.7	1.7	2.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H30決算額	R01決算額	R02決算額	R02当初予算額	備考
	①人件費	3,609,154	3,831,192	3,833,527	4,846,000	
	②印刷費				200,000	
	③通信費	146,458	144,076	148,953	170,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	371,086	184,416	288,918	60,000	
	⑤借上料	2,963,952	2,583,012	596,585	674,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	62,870	84,972	107,618	200,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	240,969	202,988	20,320	512,000	
	計	7,394,489	7,030,656	4,995,921	6,662,000	
	対前年度増減率		△ 4.9	△ 28.9	33.3	
区分		H30決算額	R01決算額	R02決算額	R02当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	1,031,911	981,435	1,470,035	885,000	
		1,031,911	981,435	1,470,035	885,000	
	②修繕費	202,580	341,060	723,361	300,000	
	③光熱水費	859,339	904,068	932,566	820,000	
	④燃料費	25,012	38,840	142,270	100,000	
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)				300,000	
	計	2,118,842	2,265,403	3,268,232	2,405,000	
	対前年度増減率		6.9	44.3	△ 26.4	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		9,513,331	9,296,059	8,264,153	9,067,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		77.7	75.6	60.5	73.5	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		1,620	2,750	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		0.0	0.0			

Ⅲ 収支差額の状況 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 施設使用料収入	1,620	2,750	0	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	12,145,000	11,149,000	9,219,000	
収支差額 a)－b)	△ 12,143,380	△ 11,146,250		

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H30決算額	R01決算額	R02決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	80%以上	96.5%	3	
B サービス内容の満足度	80%以上	96.0%	3	
C 従業員対応の満足度	80%以上	99.5%	3	
D 施設安全対策の満足度	80%以上	97.4%	3	
E 美観・清潔感の満足度	80%以上	96.5%	3	
F 施設の利用者数	13,200人	6,210人	2	【達成できていない点・主な課題】 ・新型コロナウイルス感染症対策として4・5月を休館としたため 【いつまでに、どのように対応するか】 ・開館後についても予防対策を徹底した

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 ・主な利用者の高齢者からは、利用料金が徴収できないため、利用人数が増えても収益が上がらない。しかし、高齢者の生きがいや社会参加の観点から健康寿命延伸に対して当該施設は有効であると考えられる。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 ・民間の実施は可能であるが、主な利用者である高齢者からは、施設利用料金が徴収できないため、行政の関与が必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

28

／33

V その他自由意見

--